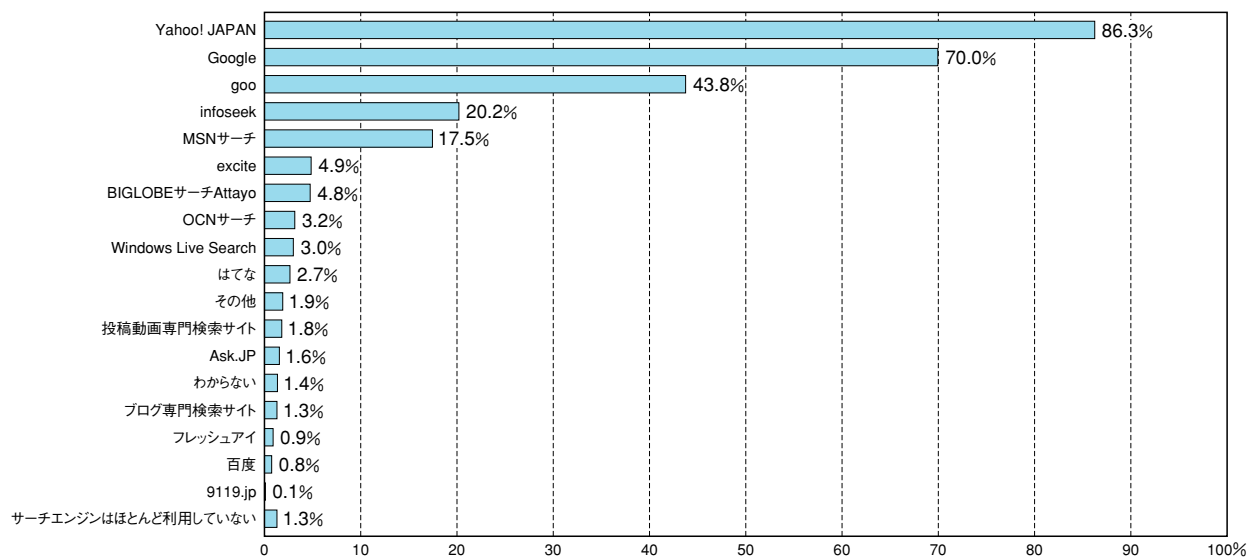


検索サービス

「Yahoo!JAPAN」が86.3%でトップ、次いで「Google」が70.0%

資料2-2-1 利用している検索サービス(複数回答) N=2,000

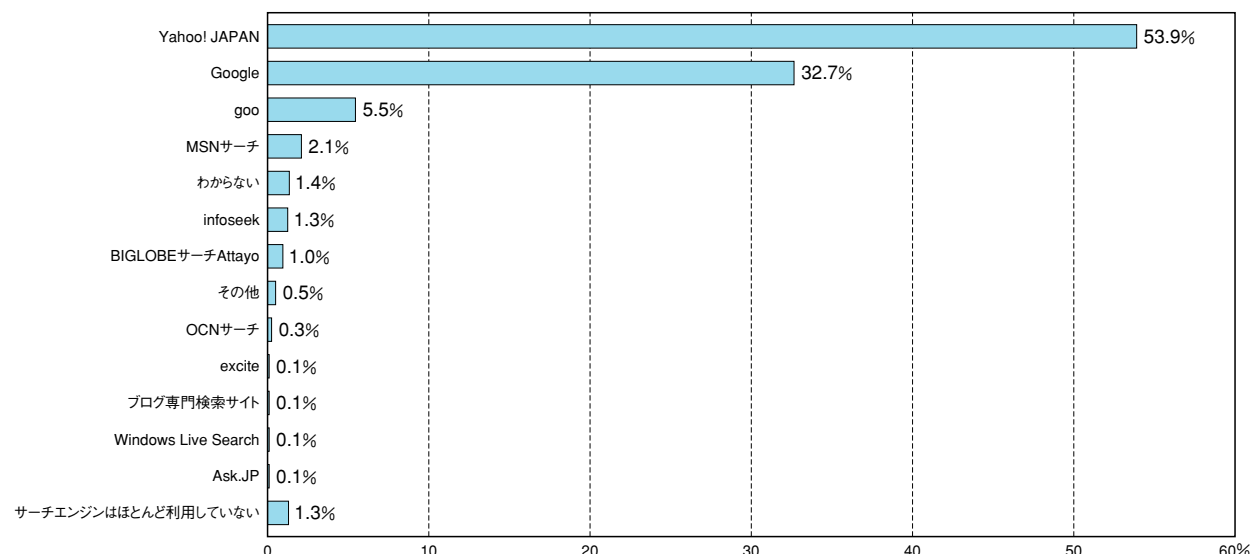


利用している検索サービス(複数回答)は、「Yahoo!JAPAN」が86.3%とほとんどのユーザーが利用しており、「Google」が70.0%と続く。動画やブログを検索対象とした専門の検索サイトのサービスも開始しているが、利用はまだ限定的である。なお、本調査はgooリサーチのパネルを利用しており、「goo」の利用比率が高めに出ている可能性があることに留意されたい。

©impress R&D,2007

単一回答でも「Yahoo!JAPAN」が過半数、「Google」は32.7%

資料2-2-2 最も利用している検索サービス(単一回答) N=2,000



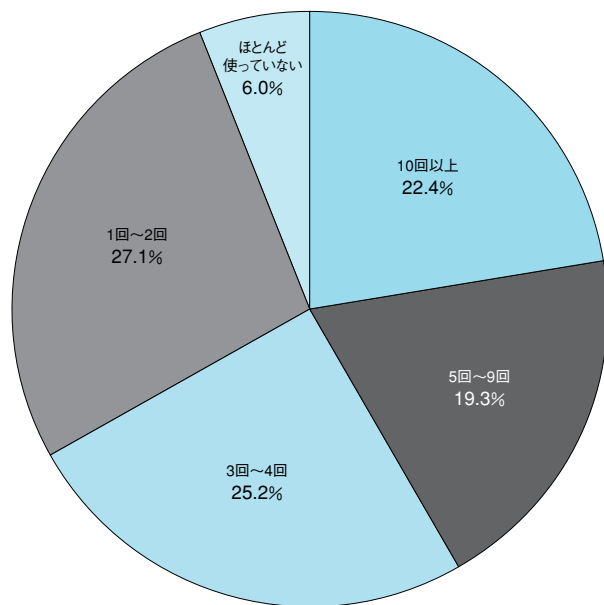
最も利用している検索サービス(単一回答)は、「Yahoo!JAPAN」が53.9%と半数を超え、次いで「Google」の32.7%となっている。本書には掲載していないが、年代別にみた場合、男性30代、40代、60代では、「Google」の利用率が「Yahoo!JAPAN」を上回っており、反対に女性の10代20代では「Yahoo!JAPAN」の利用率が6割を超えている。

©impress R&D,2007

検索サービス

1日の検索回数は約6割が4回未満

資料2-2-3 検索サービスの1日平均利用回数 N=1,937

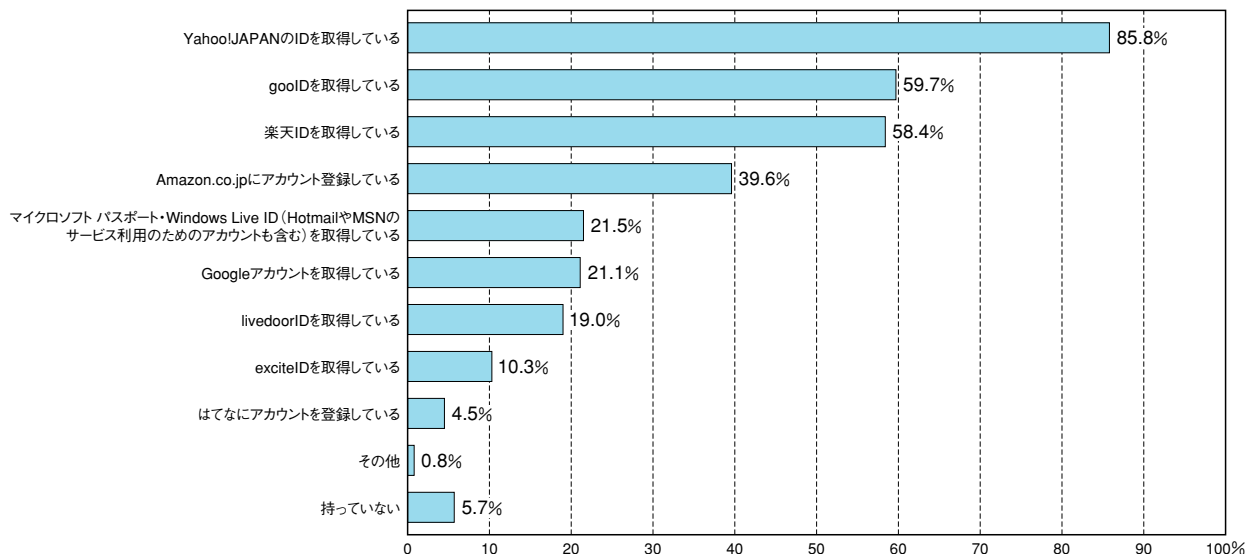


検索サービス利用者の検索サービスの1日平均利用回数は、「1回~2回」が27.1%、次いで「3回~4回」が25.2%であり、4回以下のユーザーが半数を超えている。年代別にみた場合、10代~40代の男性で「10回以上」が3割を超える高い比率となっている。また、利用頻度が最も低い60代以上の女性でも1日1回以上の割合が8割を超えており、ウェブでの検索という行為が広く普及していることがわかる。

©impress R&D,2007

8割以上が「Yahoo!JAPAN」のIDを取得

資料2-2-4 大手ポータルサイトのアカウント取得状況(複数回答) N=2,000



大手ポータルサイトのID取得状況を見ると、「Yahoo!JAPANのIDを取得している」が85.8%と最も高く、「goo!Dを取得している」が59.7%、「楽天IDを取得している」が58.4%とポータルサイトが続く。また「Amazon.co.jp」のIDを取得しているユーザーも39.6%と高い。なお、本調査はgooリサーチのパネルを利用しており、「goo!Dを取得している」の比率が高めに出現している可能性があることに留意されたい。

©impress R&D,2007



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp